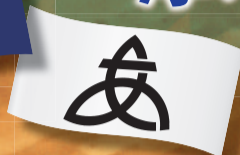


- 2 雨水貯留施設を建設
- 3 生活習慣を見直して健康に
- 4 5 特集 ホストタウン交流 NZと共に歩む道
- 6 8 街の話題/コラム/お知らせ

ホストタウン交流

ニュージーランド×厚木市



共に目指す

東京五輪

「すごい」「ゴールに手が届いているよ」。世界で活躍する代表選手の一挙一動に沸き起こる歓声。間近で見ると巧みなボールさばきに、子どもたちは目を輝かせています。

2020年東京五輪の出場を目指すニュージーランド(NZ)の女子バスケットボール代表チームが、7月に台湾で開催されたウイリアム・ジョーンズカップの事前キャンプで厚木市を訪れました。練習の合間を縫って小学生向けのバスケットボール教室が開かれ、競技を通して絆を深めました。女子代表で主将のカラーニ・パーセル選手(24)は「交流を通して皆さんの声援をもらい、力を分けてもらえた。また厚木に来られるよう、東京五輪出場という目標に向けて全力を尽くしたい」と力を込めます。

市は、東京五輪でバスケットボールNZ代表のキャンプ地に決まっています。8月5日からは男子代表が市内でキャンプを実施。五輪出場を懸けた大一番の試合に備えます。東京五輪まであと1年。ホストタウンとして、世界最高峰の舞台を目指し躍動するNZ選手にエールを送りましょう。《4・5面に関連記事》
企画政策課 ☎225-2050

Q Zoom Up

中心市街地の浸水被害を軽減

雨水貯留施設をあさひ公園に建設

大雨による浸水被害を防ぐために建設を進めてきた、あさひ公園地下の雨水貯留施設が8月末に完成します。来年の1月には、本厚木駅北側の道路地下に雨水貯留管を入れる工事に着手。風水害に強いまちづくりを進めています。

昨年(2022年)の西日本豪雨や6〜7月に九州を襲った記録的な大雨など、全国で浸水被害が多発しています。市内でも2013年4月に1時間当たり65mmの大雨が降り、本厚木駅周辺で浸水被害が発生しました。これを受けて市では、中心市街地の浸水シミュレーションなどを実施し、被害を減らすための計画を策定。計画に基づき17年からあさひ公園地下に雨水を一時的にためる施設の建設を進めてきました。

プール40杯分の雨水を貯留

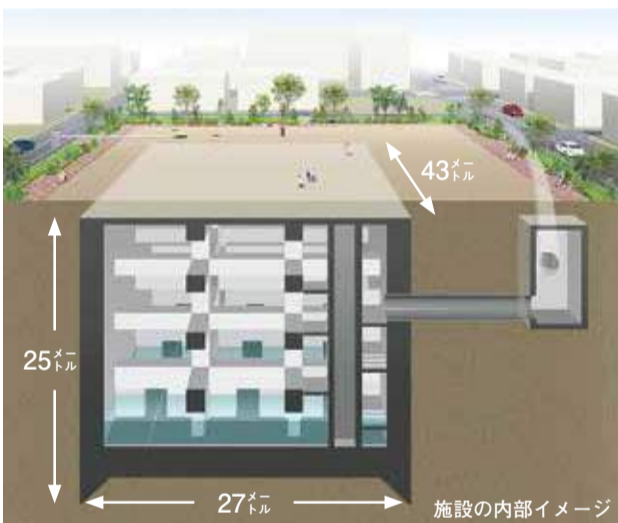
8月末に完成する施設内には、小学



【大きさ】
約1万4800ℓ(小学校のプール40杯分)
の雨水がためられる

あつぎ 元気Wave
8/1~CATVで放送

8月末に完成するあさひ公園の雨水貯留施設の内部



たまった雨水は、平常時に順次下水管に流す



本年度中にリニューアルオープンするあさひ公園のイメージ

情報収集で備えを万全に

込めます。

校のプール40杯分の雨水をためられます。来年の1月には、本厚木駅北側の道路地下に内径2.4m、長さ1130mの雨水貯留管の建設を開始。さらに小学校のプール14杯分の雨水を処理できるようにします。これまで想定していた浸水被害は、1時間当たり65mmの降水量で深さ約50cm。これらを整備することで10cm以下に抑えられ、床上浸水を防ぐことができる見込みです。本厚木駅の周辺に住む岩田照久さん(74・旭町)は「大雨が降ると近くで道路が冠水したり、床上浸水したりしていた。雨が降るたびに心配していたが、施設ができると心強い」と期待を

市では、貯留施設などの整備と併せ、家庭での備えも呼び掛けています。洪水や浸水の危険がある区域を自宅を確認できるように、洪水浸水ハザードマップを昨年全戸に配布(市HPで確認可)。さらに、市内を流れる9河川(相模川・中津川・小鮎川・荻野川・玉川・細田川・恩曾川・善明川・山際川)の水位をリアルタイムで確認できる映像をインターネットで配信しています。今後は、地区ごとの災害時の危険性を

記した「地区別防災マップ」を、市民の皆さんと協働で作る取り組みも進めていきます。

災害から身を守るには、施設の整備など市の取り組みと、家庭での備えが欠かせません。発信されている情報を生かし、いざというときの対策や避難経路の確認などをおきましょう。
☎下水道施設課 ☎25-2370 (雨水貯留施設)、危機管理課 ☎25-2190 (災害対策)

日頃から備えを 家庭でできる浸水対策

風水害などの災害時には、自分の身の安全を守るために一人一人が取り組む「自助」が欠かせません。被害を少なくするため、日頃から家庭で備えをしておきましょう。

1 ハザードマップを確認

ハザードマップで自宅の浸水深や最寄りの避難所を確認し、避難経路を設定しましょう。マップは市HPでも確認できます。



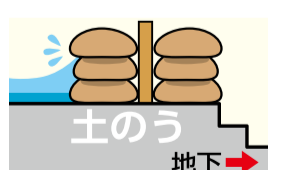
2 雨水升の周辺を清掃

雨水升の取水口に落ち葉やごみが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃から清掃しておきましょう。



3 地下室などの対策

浸水被害に遭いやすい地下室などがある建物は、土のうや板を準備しておきましょう。



大雨時に土のうが無いときは

簡易水のうの作り方

容量が40ℓ程度のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ、ひもで縛ると簡易水のうができます。板と組み合わせると浸水を防ぎます。



登録不要 土砂災害緊急メールを配信開始

大雨によるがけ崩れや土砂崩れなどの危険性が高まったときに、周辺の住民に警戒情報を知らせます。

【配信イメージ】

神奈川県



土砂災害
警戒情報

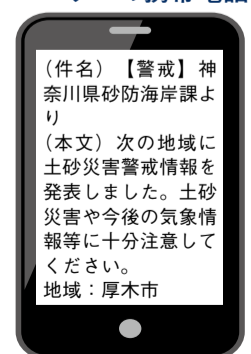
携帯電話事業者

- NTTドコモ
- KDDI
- ソフトバンク



緊急速報
メール

配信対象エリア内のユーザーの携帯電話



※配信文例



一日30分週3回の運動を続けるのが理想的



栄養バランスの良い食事を



定期的に自分の数値を確認

Zoom Up

少しの工夫が将来を変える 生活習慣を見直して健康に

脳卒中や心臓病などの命に関わる病気の多くは、乱れた生活習慣の積み重ねで引き起こされます。市では、自分に合った対策を助言する保健指導や自分の体を知る健診などで、皆さんの健康づくりを支援しています。

日本人の三大死因である、がん、脳血管疾患、心疾患の多くは、運動不足や栄養の偏りなど、生活習慣の乱れが原因で引き起こされます。特に、内臓脂肪の蓄積と高血圧や高血糖などが組み合わさった状態のメタボリックシンドローム（メタボ）は、脳卒中や心臓病など命に関わる重篤な病気を招きます。県の調査によると、市内のメタボ該当者は17・5%と、県内で4番目に多くなっています。

生活にちょっとした工夫を

日々の運動不足や食事バランスの崩れ、ストレスなどが原因で陥るメタボを予防するためには、毎日の行動を少しずつ変えることが大切です。エスカレーターやエレベーターではなく階段を使う、いつもの食事に野菜料理を一品加えるなど、簡単な工夫を続けることでも予防につながります。保健師の大塚菜摘さん(30)は「運動も食事も継続が大切。きつい運動や食事制限をいきなり始めるのではなく、自分の体調や生活に合った取り組みを選んで、できることから始めてもらえたら」と呼

び掛けます。

自分の体を知るのが第一歩

自分に合った健康づくりには、体の状態を知ることが欠かせません。体重や血圧を小まめに測るだけでも、体の変化を把握できます。国保に加入している40〜74歳の方のメタボを診断する特定健診は、血糖やコレステロールなど、自分では測れない数値が分かる重要な機会。定期的な受診が、病気の早期発見・治療につながります。

市のサポートを活用して健康に

市では、特定健診の結果に応じて、保健師などが健康や食事のアドバイスをする特定保健指導を実施しています。さらに、体脂肪や骨健康度を測る機器を備えた「健康度見える化コーナー」を保健福祉センター内に整備している他、糖尿病の方を対象にした重症化予防プログラムも実施（左欄参照）。市の支援を活用して、自分に合った健康づくりを始めてみませんか。

☎国保年金課 ☎25-2125

今困っていないから大丈夫？ 将来の自分が 苦しまないために

うめぞの内科クリニック 梅園 朋也先生(49)

生活習慣病の恐ろしさは、ほとんど自覚症状がないところにあります。血糖値や血圧が高くてもすぐに痛みや不調は出ませんが、気付かないうちにも確実に病気が進行しています。例えば糖尿病は、病気になってから、合併症による視力の低下や手足のしびれなどの症状が出るまでに3〜5年かかります。「今は困っていないから」と思わず、早期発見のためにも、健診などで定期的に自分の数値を調べましょう。客観的に自分の状態を知ることが、対策の第一歩になります。

長く続けてきた習慣を変えるのは、誰にとっても難しいものです。将来の自分を苦しめないため、運動不足や偏った食生活などの習慣は早めに見直しましょう。

■ 糖尿病重症化予防プログラム ■

主治医をはじめ看護師や管理栄養士などが日常生活の見直しをサポートします。対象者には、主治医や市から案内します。

《対象》国民健康保険または後期高齢者医療保険制度に加入している糖尿病の方

☎国保年金課 ☎25-2125

今日から始めよう！健康づくり

運動編 「ながら運動」で10分多く体を動かそう

- ・歯磨きしながらかかとの上下運動
- ・テレビを見ながら体操

食事編 「プラス意識」で食生活をひと工夫

- ・「飲み込もう」と思ってからプラス10回かむ
- ・外食では丼よりもプラス1品付きの定食を選ぶ

■ 相談したくなったら？

月3回、保健師や管理栄養士による生活習慣病予防のための個別相談を受け付けています。詳しくは、市HPに掲載。☎健康づくり課 ☎25-2201

厚木市 生活習慣 相談

検索

見守りや緊急時の費用補償で安心

県内初

高齢者の一人暮らしをサポート

定期的な安否確認といざという時の費用補償を組み合わせた「あんしん住まい見守りサービス」の登録料を助成し、暮らしの安心を支えます。☎住宅課 ☎25-2330

■ 対象

①市内在住②65歳以上③協力不動産店(市HPに掲載)が管理する民間賃貸住宅に一人で居住または入居予定の全てに該当する方

■ サービス内容

①安否確認	②費用補償
週2回、決まった曜日・時間に電話が来ます(右図参照)。	不慮の事故の際、原状回復・遺品整理などの費用を最大100万円補償します。

■ 料金(税抜き)

コース	スタンダード	ワイド
初回登録料	1万円	1万5000円
月額利用料	1500円	1800円
費用補償の対象	自宅内での事故のみ	自宅外での事故を含む

■ 申し込み

契約している各居宅の協力不動産店へ。

…… 安否確認の流れ ……

1 決まった曜日・時間に電話がかかり、安否確認のメッセージが流れます



体調はいかがですか？

2 ガイダンスに従ってボタン操作をします



①元気で。
②少し体調が悪いです。など

3 指定した連絡先にメールで結果を通知します



●●様が「元気で」を押されました。など

市が助成



日本でもおなじみの「あやとり」はNZでも伝統的な遊び。NZの教師と厚木北高生が互いに作り方を教え合った



NZゴルフ協会ディーン・マーフィーさんとキャンプ誘致に関する合意を締結



留学ではマオリ族の工芸品作りなども体験

未来へ続く交流を



NZと共に歩む道

開幕までいよいよ一年を切った東京五輪・パラリンピック。厚木市はこれまで、ホストタウン相手国のニュージーランド（NZ）と、スポーツや文化、教育などさまざまな分野で交流を重ねてきました。特集では、これまで深めた絆の軌跡と、大会に向けて広がっていく交流の輪を紹介します。

企画政策課 225-2050

厚木市ホストタウンの軌跡

2013年9月	2020五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定
16年1月	NZのホストタウンに登録
3月	市長がNZ特命全権大使を訪問
5月	あつぎホストタウン交流大使を任命
8月	あつぎ鮎まつりNZブース初出席
11月	市長が丸川五輪相と意見交換
17年3月	女子7人制ラグビー-NZ育成チームキャンプ
4月	女子7人制ラグビー-NZ代表キャンプ
6月	あつぎキッズガイドプロジェクト(AKG)発足
11月	Feel of NZ(市内店舗などでNZの文化を楽しむイベント)実施
12月	NZの高校生が市内を訪問
18年3月	市内高校生がNZに体験留学
4月	エデュケーションNZ調印
7月	女子バスケットボール(NZ代表キャンプ)
8月	市内中学生がNZに体験留学
10月	NZウィルチアアラグビー体験教室
11月	NZの高校生が上依知小を訪問
11月	NZジャパンフェスティバル参加
19年1月	NZオリンピック委員会が市内を訪問
2月	NZバスケットボール協会キャンプ誘致調印式
3月	市内高校生がNZに体験留学
4月	戸田小オンライン交流
4月	NZゴルフ協会キャンプ誘致調印式
5月	NZ体育教師が市内を訪問
7月	女子バスケットボール代表キャンプ
8月	東京五輪・パラリンピック競技大会1年前イベント開催
8月	市内小・中学校の教員がNZへ派遣研修
8月	男子バスケットボール代表キャンプ
8月	ゴルフU-18NZ代表キャンプ

2016年1月、市は東京五輪・パラリンピック大会で参加国と交流するホストタウンに登録されました。相手国はNZ。登録を受け、市では「キャンプ」「スポーツ」「歴史・文化」「教育」「食文化・農業」の五つを柱に据えた交流計画を定めました。以降、スポーツ教室や体験留学といったNZとの交流を通して、広い視野を学び、将来世界を舞台に活躍できる人材を育てるため、これまでに50を超える事業を実施してきました。

◆ キャンプ誘致で 子どもたちに夢を

五つの柱の中でも特に力を入れたのがキャンプの誘致です。市はラグビーやバスケットボール、ゴルフなどの競技協会との交渉を重ね、試験的なキャンプの受け入れも実施。その結果、今年2月にNZバスケットボール協会と大会に向けた事前キャンプに関する合意書を締結し、4月にはゴルフ協会とも合意に至りました。

「ゴルフが盛んなNZとの交流は、プロを目指す子だけでなく、これから始めてみたいという子どもたちにも良い刺激になる」と話すのは、市ゴルフ協会の会長・長澤安夫さん(67)。キャンプ

の誘致により、世界を舞台に活躍する選手の姿を間近で見ることが、子どもたちが夢や自信を持つことにももちろん、選手によるクリニックや交流イベントを通して実際に競技に触れるきっかけ作りにもつながる期待を寄せます。

「厚木に来てもらうだけでなく、ゆくゆくは厚木からもNZへ行くような相互交流の輪が広がれば」。長澤さんは、大会の先に続く交流を見据えています。

◆ スポーツから生まれる 教育交流

キャンプ誘致の他にもスポーツで親交を深めた人たちがいます。5月、NZの体育教師10人が厚木北高校を訪れました。訪問は、NZとアジアの教育や文化など多岐にわたる交流に取り組み、アジアNZ財団との連携により実現。教師たちは、NZの先住民文化・マオリの伝統文化を用いたゲームを紹介し、頭や体を使いながら生徒たちと絆を深めました。さらに、スポーツ教育に力を入れる北高の部活動の様子なども視察し、指導方法を自国へと持ち帰りました。財団で教育部門の交流推進を担うヤシカ・パートラムさん(36)は「他国の教育の在り方を知ること、自国の教育方法を見つめ直すきっかけになる。互いに良いところを吸収し合っていきたい」と、交流を通じた両国の教育環境向上を目指します。

市はこの機会を捉え、市の教員たちの学びにもつなげています。8月には市内小・中学校の教員2人を2週間にわたりNZに派遣。語学教育のノウハウを学び、子どもたちへの教育に生かしていきます。

◆ 触れ合いから学ぶ おもてなしの心



7月の女子バスケットボール代表キャンプでは選手らによる市内小学生向けのクリニックも実施

18年にはNZの教育などに進んでいます。教育交流も積極的に進めています。

絆を持続させる鍵は 民間レベルの交流

ヘイミッシュ・ネヴィル・フランシス・クーバー 駐日NZ大使 (59)

NZは日本国内に40を超える姉妹都市があります。ホストタウンは、それらの都市と同様に、今後の両国の良好な関係を育み、支えてくれるものだと思っています。重要なのは、東京五輪・パラリンピックまでの関係で終わることなく、その先もずっと関係を続けていくこと。そのためには、政府や自治体による取り決めを越えて、民間レベルでの交流を根付かせることが大きな鍵となります。厚木の皆さんには、自治体の枠を超えて積極的にNZとの関わりを持ってもらいたいです。両国が共に教育や文化交流の恩恵を受けられれば、必ずや関係は継続していくでしょう。

今回は東京五輪・パラリンピックという、スポーツから始まった交流ですが、この関係がより深く、広い分野に発展していくことを強く願っています。

あつぎ鮎まつりでNZと五輪・パラリンピックを満喫しよう

東京五輪・パラリンピック 1年前イベントin厚木市

8月3・4日に開催する「第73回あつぎ鮎まつり」でNZの食を楽しめるブースを出展する他、東京五輪・パラリンピックにちなんだブースを設置します。

日時 8月3日 11~19時
4日 11~16時

会場 レンブラントホテル厚木

内容 ラムチョップ(3日のみ)やマヌカハニーなどの販売、パラスポーツ体験ブース、TOKYO2020フォトスポット。毎日新聞社によるオリンピックの歴史報道写真展も同時開催

入場無料

ラムチョップの香りが食欲を誘う

トップレベルの技術を間近で体験 NZ選手キャンプを誘致

男子バスケットボール 8月5~11日

東京で開催される大会に向けたキャンプを実施。市内中学・高校生を対象にした代表選手によるバスケットボールクリニックも開催します。

ゴルフU-18 8月25・26日

箱根で開催される大会に向けたキャンプを実施。期間中、厚木北高校ゴルフ部員との交流会などを実施します。

みんなで声援を送ろう NZ観戦ツアー

NZ選手が出場する東京五輪・パラリンピックの各種競技観戦ツアーを実施予定です。日程や応募方法などは、決定次第、市HPや広報あつぎでお知らせします。

聖火リレーが厚木を通過!

聖火が厚木にやってきました。みんなでランナーを応援しましょう。

日程 2020年6月30日

「ホストタウンとなったことで、これまで関わりの無かった国を身近な国として考えられるようになった」と話すのは、戸田小学校の校長・馬場良一さん(60)です。戸田小では3月に、児童たちがテレビ電話でNZの子どもたちと交流しました。「どこか別の世界と感じていた他国のことも、実際に言葉をお互いに交わす身近なものを感じ、興味・関心が深まる」。言葉は分からないながらも、身振り手振りでNZの子どもたちとコミュニケーションをとる児童の姿に、馬場校長は確かな手応えを感じていました。

子どもの頃から積極的に海外の人と接することが、国際交流の敷居を下げ

◆ 関心を持つことが 交流の第一歩

厚木西高校2年の本間水結さん(16)は、19年に体験留学をした一人。語学だけでなく、現地の人との交流を通して、他国籍の方との触れ合い方を学びました。多様な民族が共生するNZ国民の寛容さに驚いた本間さん。「日本人は外国人と接するとき、どこか違う特別な人」と壁を作ってしまう人が多いが、NZの人はこちらが気にするほど壁を感じていなかった」と振り返ります。「壁は作った側から壊せないと。本間さんは、ホストタウンとして、まわりの外国人を受け入れられるよう、留学で学んだことを生かして、市民が持つ壁を低くする手伝いができたらと、意気込みます。

◆ 大会後も 持続する交流を

ホストタウンの役割は、大会の閉幕と共に終わるものではありません。NZとの交渉や市を訪れた選手さんなどの案内役を担う国際交流推進員のキム・マリーさん(37)は「今まで積み重ねてきた交流を一過性のものとしないうちに、まずはお互いに関心を持ち、好きになることが大切。市民の皆さんにはホストタウンであることをきっかけに、NZと積極的に関わりを持ってほしい」と力を込めます。

市では、大会に向けてキャンプやイベントなどを実施。市民の皆さんがNZの人々や文化に触れられる場をつくり、未来に続く絆を深めています。



インターネットでNZの子どもと交流する戸田小の児童たち

ニュージーランド(NZ)

太平洋の南西に位置し、火山や氷河がある二つの島と、周辺の小さな島々からなる国です。6~9月に雪が降り、1~2月に最も暑くなるなど、日本と逆の気候です。

首都 ウェリントン
面積 27万5340平方キロメートル
人口 約492万人

ホストタウン

2020年東京五輪・パラリンピックに向けて、参加国とスポーツや文化、教育などさまざまな面で交流する地方公共団体。各自治体がホストタウンに申請し、国が登録します。地域の特性を生かし、独自に交流事業や各種競技のキャンプ誘致に取り組んでいます。

登録数 413自治体(6月23日現在)

134国が 平均2自治体と交流!

NZのホストタウン

14自治体(7月2日現在)

NZの選手らが市内の学校を訪問

消防団の経験を財産に 学生消防団員に活動認証状を交付



就職活動で団員としての実績をPRできる

消防団員としての活躍が認められた市内の大学生2人に、鈴木佐重喜消防長から「学生消防団活動認証状」が手渡されました。

認証状は、若者の入団を促すため2017年に交付を開始。大学や専門学校などの在学中に1年以上活動し、地域に貢献した学生が認証されます。今回は火災予防の啓発などに熱心に取り組んだ増淵菜々さん(21)と湯本航平さん(21)を認証。市内の女性消防団員で初めて認証された増淵さんは「空いている時間に何かできないかと思いついた。火災などへの危機意識が芽生え、応急処置の知識が身に付いたことが財産になった」と話しました。市内では、現在7人の学生団員が活動しています。

まちづくりに市民の声を

第10次総合計画市民検討会議委員を委嘱

まちづくりの指針となる次期総合計画の策定に向け、市民の皆さんが話し合うための会議を設置しました。公募市民や地域の代表など、20〜80代の40人を委嘱。小林市長が委嘱状を手渡しました。

会議は、市民の皆さんの視点からまちづくりへの意見を頂くために設置。今後、子育て、教育、福祉・保健、産業・まちづくり、環境・河川の四つの部会に分かれて話し合い、12月に提言書を提出する予定です。会議の設置に当たり小林市長は「12年にわたる総合計画の骨子を作る大切な作業。さまざまな角度から意見を頂きたい」と計画策定への思いを語りました。



40人の委員に計画策定への思いを語る小林市長



生徒の手で彩る花壇

林中学校美化委員会が国道の花壇に花を植栽



慣れない作業に一生懸命取り組む生徒たち

林中学校の美化委員会の生徒が、学区内の国道412号線沿いの花壇に400株の花を植えました。

花の植栽は、これまで15年にわたり地域住民が担っていた作業を引き継ぎ実施。県の「道守サポーターズ」制度を活用して花を用意しました。生徒たちは、地域住民に教わりながらサルビアなどを植栽。参加した野口凱叶さん(14)は「今までこんな大変な作業をして地域をきれいにしてくれていた皆さんに感謝している。これからは責任を持つて管理をしていきたい」と意気込んできました。

協力した地域住民の小泉京子さん(69)は「生徒たちが引き継いでくれてとても心強い。これからも一緒に作業するなど、協力していきたい」と生徒たちを見守っていました。

人気俳優が語る「地元愛」

地元出身俳優・遠藤雄弥さんトークショー

厚木市出身の俳優・遠藤雄弥さん(32)のトークショーが、アミューあつぎの映画館で開催されました。

イベントは、遠藤さんが主演を務めた映画「それでも、僕は夢を見る」の上映に合わせて実施。来場者は、遠藤さんの学生時代の思い出や俳優になるまでのエピソードに聞き入っていました。遠藤さんは南毛利小・中学校出身。映画「ジュブナイル」でデビューし、ドラマや映画など多くの作品に出演しています。本作では、東京での生活に疲れ、戻った地元での不思議な体験を通じ、生きる痛みや意味を学んでいく青年を演じています。



映画の見どころを語る遠藤さん(左)と監督の山口健人さん

イベント後、遠藤さんは「地元で上映できてうれしい。演技を通して子どもたちに夢や希望を持ち、諦めずに続けることの大切さを伝えられたら」と笑顔を見せました。

8月15日 平和について考えよう

終戦記念日 戦争を知り、平和の尊さを改めて考えてみませんか。

平和のための展示会

市民の皆さんが描いた平和へのメッセージや絵などを展示し、戦争にまつわる映画を上映します。

日時 8月8〜12日 10〜17時
会場 あつぎ市民交流プラザ
当日直接会場へ



沖縄県平和祈念資料館の資料も展示

映画上映 「この世界の片隅に」 期間 8月3〜16日 特別料金 小・中学生 500円
詳細はあつぎのえいがかんkiki ☎240-0600へ。

戦没者追悼式

先の大戦で尊い命を捧げられた英霊を追悼します。

日時 8月19日 10時30分〜11時40分
会場 文化会館
当日直接会場へ



平和への決意を新たにする追悼式

被爆樹木二世クスノキ

4年前に長崎市から贈られ、厚木中央公園西側に植樹された被爆樹木二世クスノキが成長しています。

福祉総務課 ☎225-2210



「現地対話主義」。就任以来、私が持ち続けている信念の一つです。今年で13回目となる、自治会長の方々と意見を交わす「まちづくりフリートーク」が始まりました。

6〜8月にかけて、市内全15地区、約200人が参加します。

フリートークは、まさに今、地域で課題となっている事、皆さんが肌で感じている事をじかに伺い、より良いまちづくりにつなげることが目指されています。

対話の中では、自治会の運営をはじめ、交通安全の確保や防犯カメラの設置などの意見が上がっています。8月からは育児中の皆さんと語り合う「子育てコミュニティトーク」も始まります。「物事の本質は現場でこそ得られる」。多くの皆さんの声を受け止め、より良いまちづくりに生かしてまいります。



各地区で活発な意見交換が展開されている

に向けて共に歩んでいけると感じています。

課題も、早めに把握することです。市の取り組みの現状を皆さんにしっかりと伝え、理解していただくことで、課題解決的だと思います。すぐに改善できる内容は直ちに実行に移し、長期的な取り組みが必要な課題も、早めに把握することです。市の取り組みの現状を皆さんにしっかりと伝え、理解していただくことで、課題解決的だと思います。すぐに改善できる内容は直ちに実行に移し、長期的な取り組みが必要な課題も、早めに把握することです。市の取り組みの現状を皆さんにしっかりと伝え、理解していただくことで、課題解決的だと思います。

タウンガイド

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 ㊚=マイタウンクラブ(㊚印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊚」印と記されたものは、申し込み可) 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「満月と小田急線」

#6月18日撮影
 #小田急線鉄橋
 #夜景
 #niceatsugi
 広報課公式Instagramで公開中



先着順)。(㊚)ファミリー・サポート・センターにある申込書に証明写真2枚を添え、8月30日までに直接、ファミリー・サポート・センター ☎225-2933へ。㊚392005



都市計画審議会の委員を募集

市の都市計画などを調査・審議する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年4回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない-の全てを満たす方3人《任期》11月22日~(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。(㊚)都市計画課や公民館、市HPなどにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで8月31日(消印有効)までに〒243-8511都市計画課 ☎225-2401・㊚222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

児童扶養手当・特別児童扶養手当現況届の提出を

現況届は、前年の所得や児童の養育状況などを確認するものです。受給している方は、必ず届け出てください。対象者には事前に通知します。

《提出期間》児童扶養手当=8月1日~9月2日、特別児童扶養手当=8月9日~9月11日。(㊚)いずれも証書と印鑑を持ち、直接、子育て給付課 ☎225-2241へ。8月17・24日、8時30分~12時も受け付け。

未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金を支給

《対象》①2019年11月分の児童扶養手当の支給を受ける父または母

②基準日(19年10月31日)現在でこれまでに婚姻(法律婚)をしたことがない③基準日現在で事実婚をしていないまたは事実婚の相手方の生死が明らかでない-の全てを満たす方《支給額》1万7500円。(㊚)配布する申請書と戸籍謄本を、直接または郵送で20年2月3日(必着)までに〒243-8511子育て給付課 ☎225-2241へ。詳しくは市HPに掲載。

フードバンクに協力を

食品ロスを減らすため、家庭で余った食品(賞味期限まで2カ月以上・常温保存できる・未開封)を募集します。

《日時》8月21日、10~15時《会場》あつぎ市民交流プラザ。回収した食品は必要な家庭に無償で提供します。(㊚)当日直接会場へ。(㊚)Heart34 ☎220-5088 (10~16時)。

8月10日は「道の日」

一人一人がルールやマナーを守り、安全で快適な道路にしましょう。損傷などを見つけたら、市へ通報をお願いします。通報にはスマ報が便利です。(㊚)道路管理課 ☎225-2300。

納税コールセンターを開設

市県民税や固定資産税(都市計画税・償却資産税)、軽自動車税の納付をお忘れの方や納期限を過ぎても納付の確認が取れない方に、専門のオペレーターが電話で未納をお知らせし、早期の納付を呼び掛けます。ATM操作や指定口座への振込指示、自宅への訪問はしません。詳しくは市HPに掲載。(㊚)収納課 ☎225-2021。



《意見交換会》

■(仮称)市成年後見制度利用促進基本計画の策定
 8月7日、19時~。市役所本庁舎。(㊚)当日直接会場へ。(㊚)地域包括ケア推進担当 ☎225-2047。

常備食材を使って栄養アップ・夏バテ予防料理教室

健康的な揚げないコロッケや香辛料を使った食欲増進スープなど、暑さを乗り切る時短レシピを作る。

開催日	会場(公民館)
8月	20日 相川
	23日 厚木北
	27日 依知南
	28日 南毛利
	30日 愛甲
9月	3日 依知北
	4日 緑ヶ丘
	5日 睦合北 荻野
	10日 睦合西 小鮎
	11日 森の里
	12日 厚木南
	17日 玉川
	19日 上荻野分館

いずれも10~13時。市内在住の20歳以上各回20人。300円(材料費)。(㊚)8月1日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。㊚192408

子育てアドバイザー(子育て支援ボランティア)講習会

9月4・17日(全2回)、9時20分~17時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人。8月1~21日に電話で要予約。先着順)。別途、保育所実習(半日)あり。全課程修了者に認定証を交付。(㊚)8月28日までに子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。㊚192301

私の働き方改革・パート勤務かフルタイム勤務か

9月8日、10~12時。あつぎ市民交流プラザ。税制改正の内容を学び、働き方を考える。市内在住在

勤在学の女性30人。無料。託児あり(1歳~小学3年生。要予約)。(㊚)直接、電話またはハガキに〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号、託児の有無(子どもの氏名、ふりがな、生年月日)を書き、8月20日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225-2215へ。抽選。㊚192102

市立病院奨学生(看護師)を募集

《試験日》9月22日《対象》看護師などの養成施設に在学し、卒業後市立病院に勤務する意思のある学生。(㊚)市立病院や市立病院HP、市役所、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書を、直接または郵送で9月11日(消印有効)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課 ☎221-1570へ。

2019あつぎマラソンのボランティアを募集

給水所補助や会場整理などのボランティアを募集します。

《日時》10月20日、7~13時《場所》荻野運動公園と周辺道路。(㊚)電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、年齢、電話番号、Tシャツサイズ(S・M・L・XL・2XL)を書き、8月30日までにスポーツ推進課 ☎225-2531・㊚223-0044・✉8850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。10月上旬に説明会を開催。

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする会員を募集します。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができる方《講習会》9月4・17日(全2回)、9時20分~17時。あつぎ市民交流プラザ。託児あり(1歳以上10人。8月1~21日に要予約)。

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
 厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

7月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆警戒レベル4で全員避難というのは分かりやすい/40代女性 ◆モニター以外も参加できる外部評価は、市政に触れる良いきっかけ/30代女性 ◆夏を迎える時期に熱中症の記事は参考になった。小まめに水分補給したい/70代男性 ◆起業を志す方にとって起業スクールは体系的に学べる絶好の場だと思う。街の活性化にもつながるので続けてほしい/70代男性 ◆鮎まつりの記事を見ると夏の訪れを感じる。今年も大花火大会を見に行きたい/40代女性

編集後記

市を訪れたNZの体育教師と移動中に会話をする機会がありました。言葉も分からず戸惑っていたところ、相手が最初の一声を英語で話し掛けてくれました。英語が大の苦手な私ですが、何とか分かる単語や手振りなどを駆使して対応。気付けば拙いながらもコミュニケーションがとれていました。言葉は分からずとも案外なんとかなるものですね。今度はためらわず、自分から最初の一言を発したいと思います/野本

第73回 あつぎ鮎まつり

8月3・4日

大花火大会 3日 19時~打ち上げ

詳しくは 観光協会HPに掲載

☎観光振興課 ☎225-2820

あつぎ 元気Wave
8/1~CATVで放送

JAZZ ATSUGI NIGHT

10周年記念

会場：厚木公園

入場 無料

8月22・23日
15:00-21:00

豪華出演者

22日
東京農業大学
北里大学
ヤマミュージックサロン本厚木
LOCO ALOHA
Jimmy and The Soul mate Bros.
星野裕矢
佐々木秀尚Group
神保彰

23日
神奈川工科大学
東海大学
専修大学
中島玲&寿司ドミナント
Harmonica Duo Bom X Boa X nica
高木里代子トリオ
日産B&S
ジャズオーケストラ
在日米陸軍軍楽隊

あつぎジャズナイト 2019

まちを動かすイベントに
ジャズナイトは、商店街の活性化のために始まり、10年間で、来場者も会場に出店するお店も着実に増えてきました。会場でジャズと飲食を楽しみ、その足で街を回遊してもらえような「まちを動かす」イベントをこれからも続けていきたいです。

市まちなか活性化プロジェクト
会長 穴ヶ村健三さん(70)

check!

夏の夜に、軽快なジャズの生演奏を楽しむイベントです。クラフトビールやソーセージなどのフードコートも充実。夜風に当たりながら、すてきな宵のひとときを過ごしませんか。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

ステージのスケジュールやフードコートなどの詳細は市HPに掲載
HPIはこちら▶ 

自然歳時記

●ウグイス● ウグイス科

全長雄16センチ、雌13.5センチほどで大きさが異なる。「ホーホケキョ」を「法、法華経」と聞きなし、春告げ鳥の代表である。夏季にも鳴くのは繁殖中のしるし／上荻野、松石寺の森で見つけた。 写真・文/吉田文雄



夏なのに遠くから「ホーホケキョ」と聞こえてきた。広い山々に澄み切った美しい鳴き声が響き渡り、心も晴れ晴れとして本当に心地よい。この時期にさえずりが続いているのは、繁殖のために雄が縄張り宣言をしているからだ。コケ類の調査をしていると、すぐそばのコウゾの木の枝から鳴き声がし

た。オリーブ色の羽毛をぶるっと震わせて毛繕いし、胸を波打たせると、大きな「ホーホケキョ」の音が辺りの静けさを打ち破った。背伸びをして見ると「ケキョケキョケキョ」と、警戒を思わせる声が返ってきた。少し下がると、またのどかなさえずりが始まった。美しい声と姿に、今日の日に感謝を捧げた。

厚木市の人口 (7月1日現在)  **世帯数** 10万194世帯 (前月比56世帯増)  **人口** 22万4858人 (前月比42人減) 男11万6335人・女10万8523人